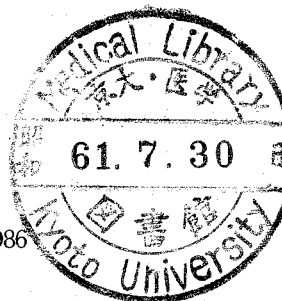


Title	表紙・目次 (泌尿器科紀要 第32巻第7号) 購読要項・投稿規定
Author(s)	
Citation	泌尿器科紀要 (1986), 32(7): 1074-1074
Issue Date	1986-07
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/118852">http://hdl.handle.net/2433/118852</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

Vol. 32, No. 7 ACTA UROLOGICA JAPONICA July 1986



# 泌尿器科紀要

第32巻 第7号 1986年7月

新しい酵素法によるポリアミン測定について

第4報: 本法における血中ポリアミン分別定量の基礎的検討…………小出 卓也・ほか… 913

新しい酵素法によるポリアミン測定について

第5報: 尿路性器癌患者における血中ポリアミン分別定量…………小出 卓也・ほか… 919

腎細胞癌における臨床検査成績と予後との関係…………内田 豊昭・ほか… 929

ヒト腎細胞癌由来の樹立細胞株 KU-2 の性状について

(1) クローン分離とクローン株の形態学的観察 (2) 生長度測定と

細胞周期 (3) C型ウイルスの検出 (英文)…………勝岡 洋治… 941

尿路遺残 Catheter の摘出経験…………中嶋 久雄・ほか… 949

Kock Continent Ileal Urinary Reservoir の臨床経験…………松島 正浩・ほか… 955

化学療法剤の前立腺組織内移行に関する研究

—経尿道切除術による組織採取法の検討—…………高崎 登・ほか… 969

80歳以上高齢者前立腺肥大症に対する恥骨上式恥骨後式前立腺

摘除術変法及び恥骨後式前立腺摘除術 (英文)…………三宅 弘治・ほか… 977

Testosterone 投与後の“はねかえり現象”に関する実験的研究

—Flow cytometry (FCM) による睪丸組織内 DNA 量分布測定— ……磯山理一郎… 981

Seminoma 27例の検討, 特に stage I seminoma における HCG- $\beta$  測定の意義

と stage I seminoma に対する後腹膜リンパ節郭清術の検討 ……塚本 泰司・ほか… 989

睪丸腫瘍の臨床的研究 II

—Nonseminomatous testicular tumor 30例の検討—…………塚本 泰司・ほか… 999

顕微鏡下精管副睪丸吻合術の経験—Silber's specific tubule

technique (end-to-end anastomosis 法) の紹介…………西村 一男・ほか…1013

公立豊岡病院泌尿器科における入院及び手術統計

(1982年1月~1985年12月)…………荒井 陽一・ほか…1019

機能亢進を示した副甲状腺嚢腫の2例…………勝見 哲郎・ほか…1026

腎における異所性骨形成の1例…………東條 雅季・ほか…1030

同時発生をみた右腎腺癌・左尿管移行上皮癌の1例…………前田 修・ほか…1034

尿管皮膚瘻より回腸導管への再変向の1例…………朴 勺・ほか…1041

反復性尿路感染症における男子重複尿道の1例…………堀江 正宣・ほか…1045

尿路手術における組織接着剤 (BI 0.022) の応用

—腎盂切石術, 尿管切石術への適用—…………北島 直登・ほか…1051

複雑性尿路感染症に対する T-2588 の臨床的検討…………深津 英捷・ほか…1061

尿路不定愁訴に対するツムラ No. 111 清心蓮子飲の臨床効果…………大野 丞二・ほか…1069

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教

常山

到着後 1ヶ月間

## 購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投稿規定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文又は英文とする。
  - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
  - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
    - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。  
(例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP)
    - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
  - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
  - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %,  $^{\circ}$ C, pH などとする。
  - (5) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。図・表は誤りのないことを確認のうえ、

編集委員： 石神 襄次      前川 正信  
園田 孝夫      友吉 唯夫

トレースして紙焼したものが望ましい。様式については本誌の図・表を参照する。

- (6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用個所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。

(例：山田<sup>1,3,7)</sup>、田中ら<sup>1,3-10)</sup>によると)

雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年

単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

- (7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。

- (8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

- (9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

## 3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
- (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
- (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。

## 4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重      新谷 浩  
吉田 修(主幹)

泌尿器科紀要 第32巻 第7号      1986年7月25日 印刷      1986年7月31日 発行

発行 吉田 修      顧問 加藤 篤二      発行所 泌尿器科紀要刊行会

〒606 京都市左京区聖護院川原町54      京都大学医学部泌尿器科学教室内      電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社      京都市上京区寺之内通小川西入